



とてもかわいいです！！



携帯電話でアクセス

雪だるまマスコット人形づくり ～飯山市老人クラブ女性部の活動から～

飯山市老人クラブ連合会では、毎年「いいやま雪まつり」にあわせてマスコット人形製作を行っていただきます。飯山市老人クラブ連合会としては3年目を迎えます。

今年は、1月22日、29日に飯山、秋津、木島、常盤、岡山地区の各単位クラブの女性部長が中心となり、マスコット人形を350個



とても細かい作業です



最後は皆さんで記念撮影

製作しました。
発泡スチロールのボールに、和紙を貼りながら形にします。とても細かい作業ですが、一つひとつ心を込めて丁寧に作りました。今回製作されたマスコット人形は、雪まつりのイベントにて配布されます。ありがとうございました。

雪掘りとうど塾 指南役講習会開催

1月27日（木）午後1時30分から外様地区活性化センターを会場に、『平成22年度雪掘りとうど塾指南役講習会』が長野県社会福祉協議会主催のもと行われました。

参加者は2月5日、6日に雪掘りとうど塾を開催する外様地区役員を中心に、除雪活動の指導方法など、指南役としての留意点を学びました。



講演される上村先生



ボランティア受入れの様子を語る星原氏

前半は、越後雪かき道場代表の上村靖司氏（長岡技術科学大学准教授）による講義が行われました。最近では高齢化や過疎化、自治体の財政難により、自助・公助・共助のバランスが弱くなっていることや、除雪活動中の事故等などにもふれ、降雪地域における現状をお話いただきました。

その後、昨年度の実践レポートでは、星原秀春氏（平



活動中の注意点を説明

たくさんの薬草をいただきました デイサービスセンター瑞穂

12月28日（火）午前10時にデイサービスセンター瑞穂に、瑞穂地区民生児童委員の皆様が訪問され、薬草を届けてくださいました。

今回で薬草をご寄付していただくのは3年目になります。瑞穂地区社協、区長会を通じて区民の皆様にご協力をいただき、5月の末から8月の末まで薬草を採取し、乾燥後、12月の下旬には裁断・袋詰め、計量を行い、25袋で83キロもの薬草が集まりました。中身は、『どくだみ』『よもぎ』『いかりそう』『げ



たくさんの薬草をいただきました



んのしょうこ』などが入っています。

代表して受け取って下さった利用者の方からは、『沢山の薬草をいただきました。ありがとうございました。』と感想が述べられました。瑞穂地区の佐藤進一さんは、『お風呂に入っていたとき、体を温めて下さい。これから薬草を通して、地区全体で助け合い活動に取り組んでいきたいと思っています』とおっしゃっていました。

瑞穂地区の皆様本当にありがとうございました。

若い世代の活動から ～10代プロジェクト・わくワクとうど塾より～

12月24日（土）、じよんのび夢蔵（飯山駅南側）を会場に市内の高校生達によるクリスマススライブイベントが開催されました。今回で3回目を迎えますが、社協で取り組んでいる10代（中高生達）の若者が、充実した生活を過ごせる「居場所」・「自主活動作り」の場を提供することを目的に行っています。

演奏してくれたのは、高校生から地域の大人の皆さん6グループでした。会場には大勢の観客が訪れ、演奏に聞き入っており、楽しいイベントになりました。



会場には大勢の方が来られました



最後は出演メンバーみんなで交流

また、1月の『わくワクとうど塾』では、雪国の暮らしを考えてみよう！暮らしのくふう、楽しみ方を知るのテーマで、木島児童館を会場に行われました。講師は、丸山勉氏（富倉地区在住）をお迎えし、昔の暮らしや遊びの様子をお話いただきました。

丸山さんは自らを「じいじ」と呼び、「じいじの子どもの頃は、冬の朝一番の仕事は道踏みでした。」と除雪機の無い時代は、わらぐつを履き、足で雪を踏み、道をつけたこと、そして、新年には新しい着物や



丸山さんのお話の様子

羽織を用意してもらいご馳走が食べられたこと、「しちんち袋」（巾着袋）にみかんや、手作りの芋干しやおこしを入れてもらい大切に食べながら遊んだことなどが語られました。その後、雪遊びを楽しみ、温かいおしるこを味わいました。

最後に子供たちに「じいじ」から、「飯山で暮らす立派な大人になつてくれるように願っているからね」と声をかけていただき、子供たちは大きくうなづいていました。